

県立高等学校における平成27年度入学者選抜に係る採点の誤りについて

平成28年度神奈川県公立高等学校入学者選抜共通選抜において、採点の誤りがあったことを受け、平成27年度入学者選抜共通選抜についても、全受検者の全教科の答案の再点検を実施したところ、県立高校71校で採点の誤りがあり、受検者188名の点数が変わり、このうち2名については、本来合格とすべき受検者を不合格としていたことが判明しました。

平成27年度答案の再点検の結果と対応については、次のとおりです。

1 採点誤りにおける再点検の結果（全県立高校143校中、学力検査を実施した県立高校139校、157課程）

再点検の内容	誤りのあった 学校数・課程数（ 1 ）	誤りのあった 受検者数	本来合格と すべき受検者数（ 2 ）
小計点及び合計点	50校・52課程	80名	1名
小計・合計以外の採点	47校・48課程	108名	1名
合計	71校・75課程	188名	2名

- （ 1 ） 「誤りのあった学校数・課程数」の合計は、「小計点及び合計点」と「小計・合計以外の採点」の両方の再点検で誤りがあった学校が26校、25課程があるため、 $50 + 47 - 26 = 71$ 校、 $52 + 48 - 25 = 75$ 課程となる。
- （ 2 ） 採点誤りにより、合格とすべき受検者を不合格としていた人数（その他の受検者については、採点誤りの結果が合否の判定を覆すまでにはいかなかった。）

2 答案用紙の誤廃棄について

平成27年度入学者選抜に係る採点の再点検を指示したところ、「神奈川県教育委員会行政文書管理規則」において、本来、1年間保存すべき答案用紙を、保存期間経過前に廃棄してしまった高校3校が判明した。

誤廃棄のあった学校名	経緯
白山高校	平成28年1月7日、保管していた平成27年度の答案用紙等を搬出し、シュレッダー処理してしまった。途中で誤りに気づき、処理を中止したが、国語の答案用紙374枚中171枚を誤廃棄してしまった。
港北高校	平成28年1月20日、保管していた平成27年度の答案用紙等を搬出し、シュレッダー処理してしまった。
相模原総合高校	平成28年3月7日、保管していた平成27年度の答案用紙等を搬出し、シュレッダー処理してしまった。

(参考) 平成28年度入学者選抜に係る採点誤りにおける再点検の結果

(全県立高校143校中、学力検査を実施した県立高校139校、157課程)

再点検の内容	誤りのあった 学校数・課程数(1)	誤りのあった 受検者数 (2)	本来合格と すべき受検者数 (3)
小計点及び合計点	57校・57課程	109名	1名
小計・合計以外の採点	66校・67課程	222名	1名
合計	88校・89課程	330名	2名

- (1) 「誤りのあった学校数・課程数」の合計は、「小計点及び合計点」と「小計・合計以外の採点」の両方の再点検で誤りがあった学校が35校、35課程があるため、 $57 + 66 - 35 = 88$ 校、 $57 + 67 - 35 = 89$ 課程となる。
- (2) 「誤りのあった受検者数」の合計は、「小計点及び合計点」と「小計・合計以外の採点」の両方の再点検で誤りのあった受検者が1名いるため、 $109 + 222 - 1 = 330$ 名となる。
- (3) 「本来合格とすべき受検者数」とは、採点誤りにより、本来不合格であった受検者を合格としていたため、本来合格とすべき受検者を不合格としていた人数のこと。(その他の受検者については、採点誤りの結果が合否の判定を覆すまでには至らなかった。)

3 生徒、保護者への対応について

(1) 平成27年度入学者選抜に係る採点誤り

本来合格とすべきであった受検者とその保護者に対して連絡を取り、謝罪するとともに、その意向を確認している。

今後、受検者、保護者等の意向に沿った対応をしていく。

受検した県立高校に入学していればかからなかった費用等について、県教育委員会が補填していく。

(2) 平成28年度入学者選抜に係る採点誤り

本来合格とすべきであった受検者とその保護者に対して連絡を取り、謝罪するとともに、受検した県立高校に入学する意向があるか確認したところ両名とも入学する意向であり、入学手続を完了した。

合否の判定に影響がなかった受検者とその保護者に対して、各県立高校から受検者に謝罪している。

本来合格とすべきであった受検者が、県立高校の合格発表以降に私立高校に支払った金額のうち、返金が不可能な金額について、県教育委員会が補填していく。

4 再発防止に向けた取組みについて

(1) 「県立高校入学者選抜調査改善委員会（仮称）」の設置

ア 目的

今回の事案の検証、原因究明を行うとともに、入学者選抜における問題点などについて調査し、平成29年度入学者選抜に向けた具体的な再発防止策を取りまとめる。

イ 検討事項

入学者選抜日程、作問、配点、採点方法、体制等

ウ 委員

有識者、中学校校長及び高等学校校長の代表者、保護者の代表等10名程度で構成する。

(2) スケジュール

平成28年3月中	調査改善委員会設置
4月～	調査改善委員会による原因の究明及び再発防止策の検討
5月中	調査改善委員会検討結果とりまとめ・報告
6月	平成29年度入学者選抜の再発防止策を教育委員会で決定

平成27年度入学者選抜に係る採点誤りのあった学校名一覧

(人)

学校名	小計・合計	正誤	計	学校名	小計・合計	正誤	計	学校名	小計・合計	正誤	計
鶴見		3	3	瀬谷西	1	1	2	茅ヶ崎北陵	2	12	14
城郷	4	3	7	川崎	1		1	茅ヶ崎西浜	1	1	2
横浜清陵総合	2	1	3	川崎北	3	2	5	逗子		4	4
横浜南陵		1	1	多摩		2	2	逗葉	1		1
永谷	1		1	向の岡工業(全定)	2	2	4	相原	2	5	7
保土ヶ谷	1		1	生田	1		1	相模原	1	9	10
希望ヶ丘(全定)	1	5	6	百合丘		2	2	上溝南		1	1
横浜旭陵		1	1	生田東	4	1	5	橋本	1	1	2
磯子工業(全定)	1	1	2	菅		2	2	相模原青陵		1	1
磯子	3		3	麻生		2	2	弥栄	1	1	2
金沢総合		1	1	横須賀大津	1		1	相模田名	1	1	2
岸根	1	1	2	海洋科学		1	1	三浦臨海	1	1	2
白山	2	1	3	追浜(全定)	2		2	厚木	2		2
市ヶ尾	1	6	7	平塚江南		1	1	厚木清南		1	1
荏田	1	2	3	平塚農業		1	1	大和南	2		2
新栄	2	1	3	平塚工科	1		1	伊勢原	1		1
舞岡	1	2	3	平塚商業(定)	1	1	2	有馬		1	1
横浜桜陽	3		3	大船	1		1	足柄	1		1
上矢部	1		1	藤沢西		1	1	綾瀬西	2		2
柏陽		2	2	藤沢工科	1	1	2	寒川	2		2
横浜栄	3		3	藤沢総合	2		2	大磯		6	6
松陽		1	1	湘南台		4	4	二宮	1		1
横浜緑園総合	1		1	西湘	2	6	8	山北	1		1
瀬谷	1	1	2	茅ヶ崎	4		4		80	108	188

(注1) 表題の「小計・合計」は小計・合計点の再点検により判明した誤りの数。

表題の「正誤」は小計及び合計以外の採点の再点検により判明した誤りの数。

(注2) (全定)は全日制と定時制、(定)は定時制、記載のないものは全日制。

(注3) 港北高校、相模原総合高校においては答案用紙を誤廃棄したため、確認できない。

県立高等学校における平成27年度入学者選抜に係る採点の誤りの内訳

		27年度 (小計・合計)	27年度 (採点正誤)	27年度計	
誤りのあった学校数	学校数	50 校	47 校	71 校	50+47-26=71
	課程数	52 課程	48 課程	75 課程	52+48-25=75
誤りのあった受検者数	総数	80 名	108 名	188 名	
	合格	74 名	95 名	169 名	
	不合格	6 名	13 名	19 名	
	志願取消	0 名	0 名	0 名	
合否が変わる	不合格から合格	(1) 名 80名には含まれる	(1) 名 108名には含まれる	(2) 名 188名には含まれる	
点数が変わる	上がる	74 名 (小計68名 合計6名)	36 名	110 名	
	下がる	6 名 (小計5名 合計1名)	72 名	78 名	
点数の増減の最大値	上がる	12 点	4 点	/	
	下がる	10 点	5 点		
教科	英語	14 箇所	16 箇所	30 箇所	
	国語	24 箇所	37 箇所	61 箇所	
	数学	9 箇所	31 箇所	40 箇所	
	理科	11 箇所	14 箇所	25 箇所	
	社会	21 箇所	10 箇所	31 箇所	
	特色	1 箇所	0 箇所	1 箇所	

小計による合否判定の誤り

- ・ 本来合格であったが、誤りにより2点上がる。

採点正誤による合否判定の誤り

- ・ 本来合格であったが、誤りにより3点上がる。